

下谷金属 創業80周年

下谷金属（本社・東京都台東区東上野、社長・高氏秀子氏）は、1941年（昭16）に東京・下谷（現在のの上野）に高氏社長の父、故茂二氏が個人経営で鉄鋼二次製品の販売業を開始した。創業80周年を迎えた今年、高氏社長にワイヤロープ（鋼索）を中心に業容を拡大してきた会社の歩みを振り返ってもらうとともに、これから目指す会社の方向性などについて聞いた。

――創業から80周年の節目を迎えた今、率直な心境をお聞かせ下さい。

「これまで培ってきた古き良きものを大切に残しつつ、新しい下谷金属をつくっていきたいと考えています。」

幅広い商材扱う

――2017年春の社長就任後、鉄鋼新

聞のインタビューで「昨日より今日、今からお聞きした『創業時のお客さまの満足度を高めることを大切にしたい』とのお言葉が、丸となって『どのようからに、あらためて会社を支える多くの方への強い思いを感じます。』」

売に至るプロセスも商売のキーになりま

012年（平24）に営業所を開設し、お客さまにより至便なアクセスでの商品の提供、大阪は55年（昭30）の進出から改修を重ねる中、先、少子高齢化でワイヤロープ市場が受ける影響は決して小さくないと、強化事業基盤を構築する狙いで東西の営業・物流体制を強化しました」

ワイヤロープ中心に業容拡大

都市インフラの整備に尽力

「また、この場をお借りして申し上げますと、われわれは社員あつての下谷金属と考えており、一人ひとりの日ごろからの頑張り感謝の気持ちを伝えたいと思います。私自身、社内が主体の業務に長く携わり、グループ会社を含めて広く事業活動を見渡してきましたが、その中でも社員の成長が会社の成長につながるものと認識しており、ますます

「どのようになれば『信頼と満足』に資する商品とサービスをお客さまにお届けできるのか。商売は時代背景とともに動いており、ここにあります」

――取り扱う製品の「商材とともに、在庫や加工、輸送といった流通機能も、われわれの調達や管理、販

「今後もこれまでと同様、社会のニーズに応える仕事を続けていくことには変わりはありません。ただし、社会はどんどん変化しています。下谷金属も時代の流れに即して、新しい仕事にもどんどんチャレンジしていきたいと考えています」

――次なる節目へ、総力戦で臨んでいく決意のようなのを感じます。



創業者の高氏茂二氏



社長の高氏秀子氏

「顧客第一主義」貫き時代に即した商品・サービス提供

下谷金属の拠点ネットワーク

	本社	〒110-8510 東京都台東区東上野5丁目2番5号 下谷ビル6階 電話03-3844-5101 FAX03-3844-3241
	松戸商品センター	〒271-0063 千葉県松戸市北松戸1丁目7番1号 電話047-362-0213 FAX047-362-0214
	柏加工センター	〒277-0924 千葉県柏市風早2丁目3番5号 電話04-7193-6121 FAX04-7193-6022
	大阪営業所	〒550-0015 大阪市西区南堀江4丁目23番4号 電話06-6531-2634 FAX06-6531-2642
	札幌営業所	〒064-0921 札幌市中央区南21条西6丁目1番13号 電話011-531-7000 FAX011-531-0924
	仙台営業所	〒983-0025 仙台市宮城野区福田町南1丁目4番25号 電話022-355-9797 FAX022-355-9799
グループ会社		東高通信工業／下谷不動産／下谷ビルディング／シタキン

下谷グループ全体では100人規模の所帯ですが、働いている人すべてが仲間意識や愛社精神をもてる家族的な雰囲気な大事にしています。創業者である父が生前にそうであったように、グループには『意見を求められれば、自分なりの答えを用意する』といった、年次や肩書きに関係なく、お互いの考えを言い合える風通しの良い風土が根付いています。世代を超え、歳月を重ねて積み上げてきた、良好なコミュニケーションの環境を継承している、90周年、100周年と、さらなる発展に向けた原動力につながっていきたくです」

（中野 裕介）

